

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第2次提案書

- 注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- 注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1～3号様式)、1次コンテスト以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	HOMMOKUもくりプロジェクト実行委員会
整備場所 (町名又は丁目まで記入)	中区本牧満坂
提案名 (25字以内)	HOMMOKUもくりプロジェクト
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 (具体的な整備内容 <sup>※1</sup> を工夫した点 <sup>※2</sup> にも触れて記入してください) <sup>※1</sup> 施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください <sup>※2</sup> 住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<p>2018年秋リトルファームHOMMOKUもくりとして古民家を再生し活動を開始。主に、高齢者がのんびり集える地域の居場所としてスタートしたが、施設への入りにくさ、中の様子(活動)が分かりにくいなどの課題があり、また水廻りの老朽化なども利用者の安全を考慮する上で早急な整備が必要になってきた。「ちょっとした困りごと」や「一人で過ごすこと」などの不安を、静かな緑に囲まれた場所で多世代交流が自然に起きる施設になるよう提案をします。</p> <p>■入り口の看板から、細道～もくりにつながる道を「もくもくもくり(黙々もくり)」「ふらっとしてのんびりできるところ。静かに好きなことをするところのキーワード)としてその先に行きたくなるようアイコンなどボードを掲げ中に誘導する仕掛けを工夫します。防音壁としても活用する園内案内図、イベント告知板の設置。これらは、<b>できるだけ廃材を集めてDIYとし費用を極力抑えます。</b></p> <p>■外周の整備 <u>収穫した野菜を置ける棚</u>や<u>農作業用の道具置き場</u>や<u>発酵食品の貯蔵庫</u>などを作ります。作業をしやすくすると同時に、畑から古民家の勝手口、貯蔵庫などへの動線を整備し、<u>スロープ</u>も設置することで気軽に出入りできる場とします。</p> <p>■地域の台所(将来的には菓子製造許可キッチン検討する)『台所』では、地域の名人の方から季節の料理(例:畑でできた野菜を漬け物にする。夏みかんをマーマレードにする)を教えてもらい、『料理』を通じて多世代交流が自然に発生できる<b>安全な台所にシンク改修</b>。防音対策としてサッシも改修と外と調理器具など受け渡しできる<u>カウンター</u>も設置します。</p> <p>■<u>スロープ</u>を勝手口と畑の入り口に設置</p> <p>■大雨や台風で浸水の恐れあるため、<u>下水溝・庭の排水溝の整備</u></p> <p>■<u>井戸の整備、雨水タンク設置</u></p> <p>■<u>外壁の修繕、電気の配電修繕、かまどの整備</u></p>
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください)	<p>『自然と共生する本牧の実家』</p> <p>実家に帰った時のように、昼の居間でほっとできる場所。赤ちゃんから高齢者まで、一緒に過ごすことのできる、多世代が顔をあわせる居場所にします。</p> <p>《居場所の日》月・火・水・木・土曜日11:00～16:00(季節により変更あり)</p> <p>■個人利用者(ふらっと訪れる人)</p> <p>・話をしたい、ゆっくりしたい、何も目的がなくてもフラッと行ける等、その人のニーズにあった誰でも来られる場にします。</p>

<p>※第1次提案書より具体的に記入してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畑や花壇の手入れを、興味のある人で担うことにより、交流が生まれます。</li> <li>・今までは乳幼児親子とシニアの決まった人の利用が多かったが、小学生・中高生から中間世代、どの世代の人ももくりに来られる事を知ってもらうため、さらに周知に努めます。</li> <li>■ シェアスペース事業(グループや団体の活動の場としての利用)</li> <li>・子育て世代が、先輩パパママの話が聞ける。シニアがお喋りや手仕事をする近くで、子ども達が遊んで過ごせる等、気軽に寛げる場所として。</li> <li>・みんなの食堂の活動。</li> <li>・食のグループで「蕎麦の会」や家族連れで参加できる「収穫と季節の催し」などの開催。</li> <li>・体操、ヨガなどの健康作り活動。</li> <li>■ 自主事業(お茶、習字、裁縫などの教室)</li> <li>・もくりに主体的に関わっている方が定期的に開催しています。掲示板やSNSなどで発信し参加者を増やします。</li> </ul> <p>誰でもふらっと立ち寄り、目的のある人とない人がいつの間にか間接的に関わられるような環境を作ることで、顔見知りを増やし、もくり以外で会っても挨拶やおしゃべりができ、お互いさまの関係が生まれることを大切にしていきます。また、イベントや教室への参加をきっかけに、もくりの活動に興味を持ち、畑の活動、DIY、管理人などとしてもくりに関わることに繋がっていきたい。</p>
<p>提案の背景 (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください) ※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>本牧満坂は住宅街で、公園、コンビニ、食事をすると、休憩するところがないため、気軽に交流ができていく地域です。家の建て替えが進んで新しい若い世代が増えている地域でもあります。孤立しがちな高齢者や外国籍の人だけでなく現役世代も、のんびりする場所・ゆったり息抜きする場所を求めていることをアンケートなどから感じました。だから、庭や畑があり、作物を育て収穫し、畳の部屋でくつろげる空間があるもくりに、気軽に来てもらうための周知や仕掛けがもっと必要だと感じました。</p> <p>また、谷戸の地形がもたらす境界線が曖昧なお互いさまの昔ながらの暮らし方、本牧ならではの祭り(1566年から受け継がれるお馬流し)・伝統・風習を伝える場所として、地域の方にもくりを今まで以上に活用してもらいたいです。</p>
<p>整備プロセス (スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)、費用削減の工夫に触れて説明してください)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ デザインができる、設計図が描けるメンバーがいるので自分たちで行います。</li> <li>■ 水回りなどの専門的なところは近所の工務店にお願いします。</li> <li>■ DIYができるメンバーもあり、棚や外構など自分たちでできるものは自分たちで行います。また、看板やアイコン制作、敷石の設置などは、イベントとして地域の方々に参加して頂き、もくりと一緒に作り上げます。</li> <li>■ 地域の方からのリフォームや改修工事の情報を集めて、廃材の材料の調達をし、ゴミを資源に変え、リサイクルさせています。今回の整備でも活用し、地域からゴミを出さないで循環させコストをかけない整備を目指します。</li> </ul>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法 (維持管理・運営するときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)</p>	<p>【スタッフ】管理人はメンバー3名がメインで行う。協力を申し出てくれたメンバーには、イベント時のボランティアのほか、運営にも参加してもらう。より柔軟な運営ができるよう、さらに担い手を発掘し人材を探していく。</p> <p>【運営費】居場所として施設を利用するには利用料(会員2,000円/1年または200円/1日)を徴収します。もしくは、台所や各スペースをシェアスペースとし利用料(1,000円/2時間)を徴収します。また、畑で収穫した野菜や手芸教室などで作った手作りを販売しカンパ金を運営費とします。</p> <p>【広報】Instagramやチラシから情報を得ている人が多いため、多くの世代に情報が届くよう、SNSと紙ベースの両方で発信していきます。『もくり通信』を3ヶ月に1回発行予定。もくり紹介リーフレットを一新し協力してもらえるお店などに置いてもらう。気軽に遊びに来られるよう周知に努めます。</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

<p>1次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料（任意様式）に記入してください</p>	<p>■イベントを企画し、もくりの周知と意見を伺う機会(アンケート)作成。 ・5周年記念イベント(食事会、ヨガ、着付け&amp;お茶会、1日カフェ、アップサイクル研究会、人形劇、駄菓子屋を実施) ・ボランティア交流会 ■広報活動 ・タウンニュース中区版掲載。 ・5周年祭りを開催し、1次コンテスト通過のお知らせを載せ発行。チラシ250枚近隣配布した。 ・チラシ100枚、本牧原地域ケアプラザ、本牧和田地域ケアプラザ、中本牧コミュニティハウス、本牧山頂公園レストハウスに説明・配布。 ■見学 ・まち普請事業通過の先輩事例に訪問、コンテストに向けたアドバイスをいただく。</p>
<p>関係者の合意・調整状況 (地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください)</p>	<p>・地権者:了承済み、耐震工事済み。 ・隣接住民説明:個別説明、10件説明済み。 ・もくりに関わってくれている人に修繕を手伝っていただく。 ・町内会、連合町内会の会合で説明、引き続き支援・協力をいただく。 ・本牧原地域ケアプラザ:すでに連携はしている。 ・民生委員、児童委員、地区社協との連携をし、地域の困りごとを共有しもくりでできることを考えていきます。</p>
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください</p>	<p>もくりの敷地の入り口に立つと、古民家があり庭には季節の花々や野菜が育てられているのが見えます。古民家に入ると、畳の居間があり、雨戸や窓や建具などが木で作られていて昭和の暮らしを感じられます。鳥や虫の音が聞こえ、花の香りがし、畑での作業をすることにより土や植物や虫に触れ、五感を刺激されます。もくりでは季節の行事を大切にしている、80年前のお雛様や手作りの鯉のぼりを飾ったり、畑で採れた野菜で料理や、夏みかんのマーマレードを作ったりします。昔ながらの四季折々の暮らし方を再現します。忙しく生活をしている子育て世代や一人で過ごす単身者がもくりの空間に来てほっとし、季節の行事をみんなで行うことで交流が生まれ、つながりが作られます。</p>
<p>目指す地域の将来像 (施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください)</p>	<p>『人や物が循環する本牧』 野菜から出た生ごみを堆肥にして畑の土作りに使い、そこから野菜を育て収穫し調理し、また生ごみはコンポストに還します。物は、買う前に他の何かで代用できないか考え、捨てる前には何かに使えないかを考えます。地域で出た要らなくなった物を譲り合ったり、工夫して作り替えたりします。興味関心の同じ人が集い一緒に作業することにより連帯感が生まれ<b>お互いさまの関係性</b>が育まれます。人や物が集まり循環することにより暮らしが豊かになります。もくりの空間や活動を共有することにより、季節の移り変わりを感じ自然と共に生きていること思い出し、手仕事や保存食作り、季節の行事などを人と関わり合いながら行うことで<b>地域で暮らす安心感</b>が生まれます。お互いさまの関係性が生まれたことにより、<b>いざとなったら助けあえる関係性</b>にもつながります。属性に関わらず誰でも大切な存在として尊重され、生き生きと暮らします。そして小さな拠点が各地域にできることを目指します。</p>

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

# 位置図

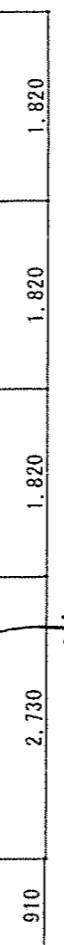
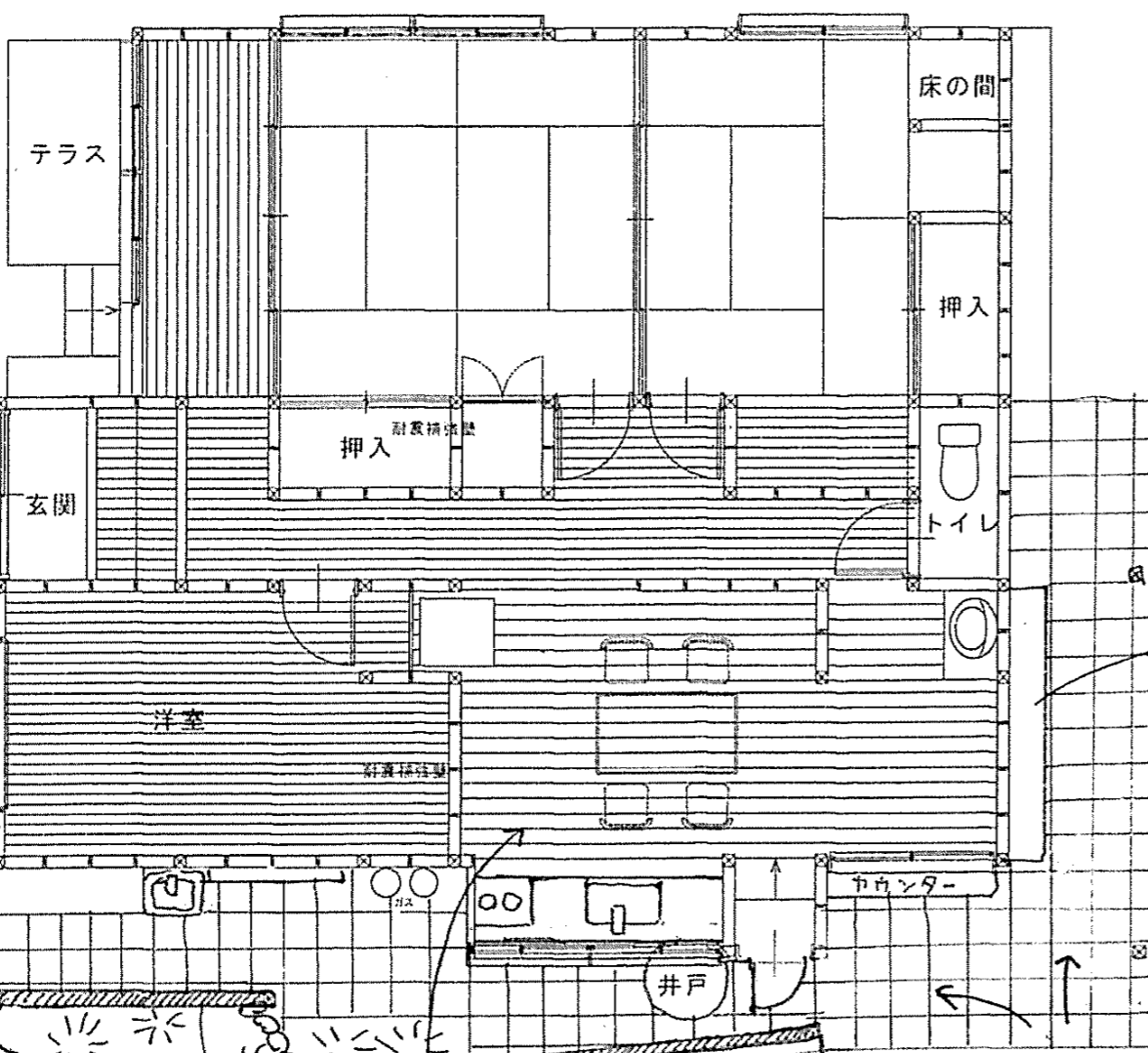


隣地

駐車場

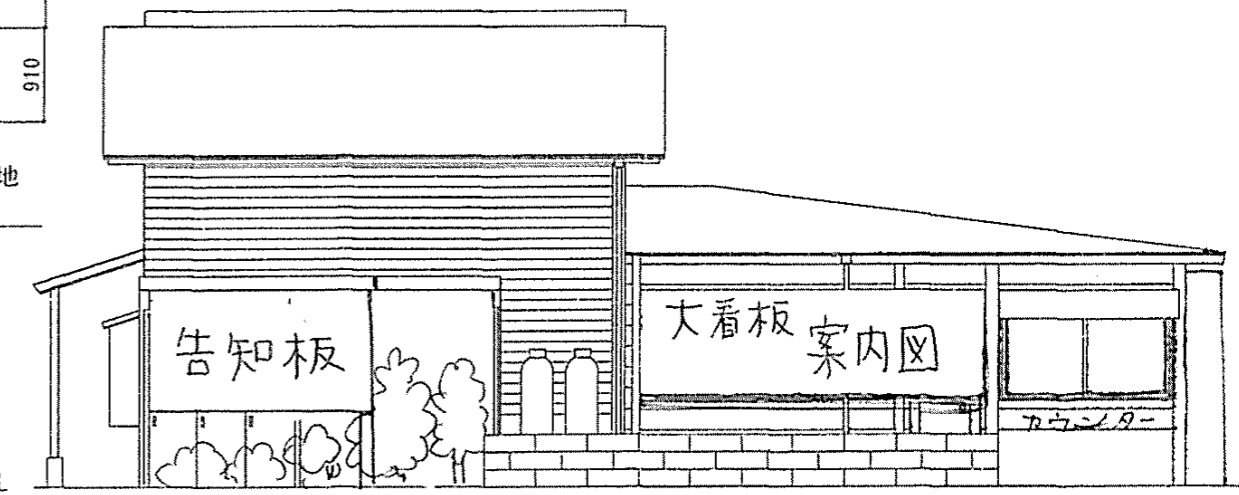


かまど



南立面図

→貯蔵庫<sup>道</sup>具置場、棚



北立面図

畑

洋室

7°スロープ入口

ブロック塀

案内案内図

告知板

キッチン詳細図参照

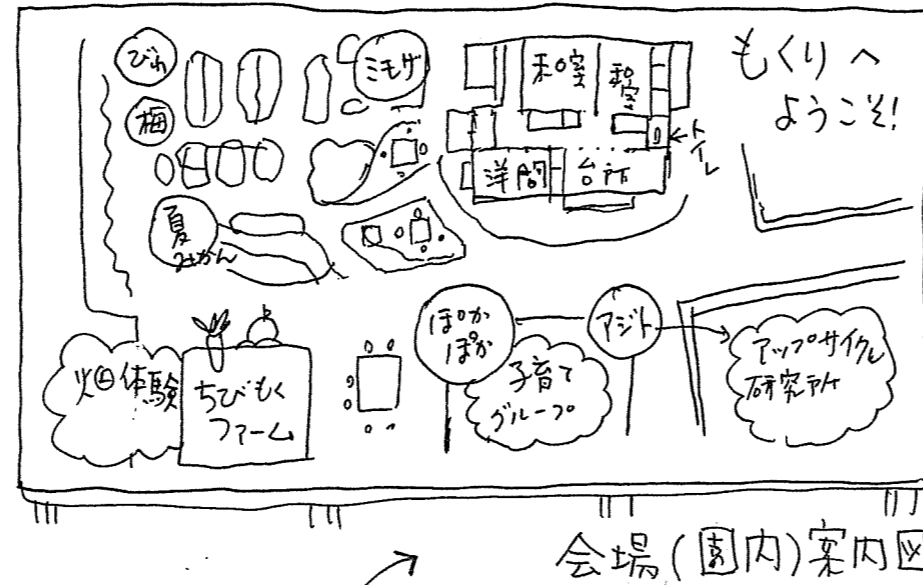
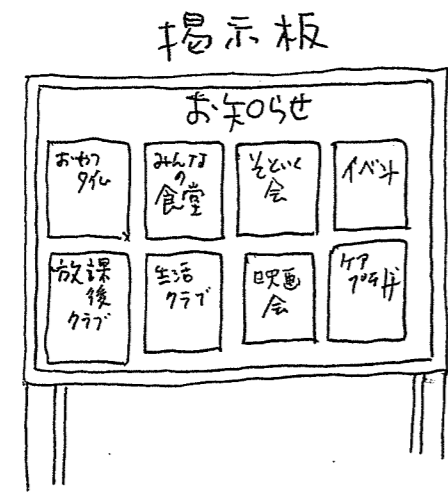
路地L  
建物GL

隣地 アジト

工事名	HOMMOKUもくり						
図面名	平面図、立面図	尺度	1:100	年月日	23.11.23	図番	

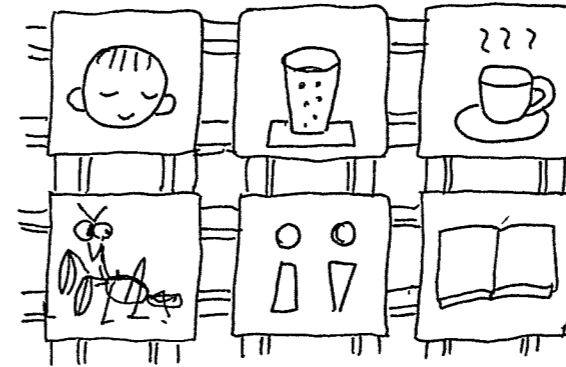


# 完成予想図



大きな  
カンバン

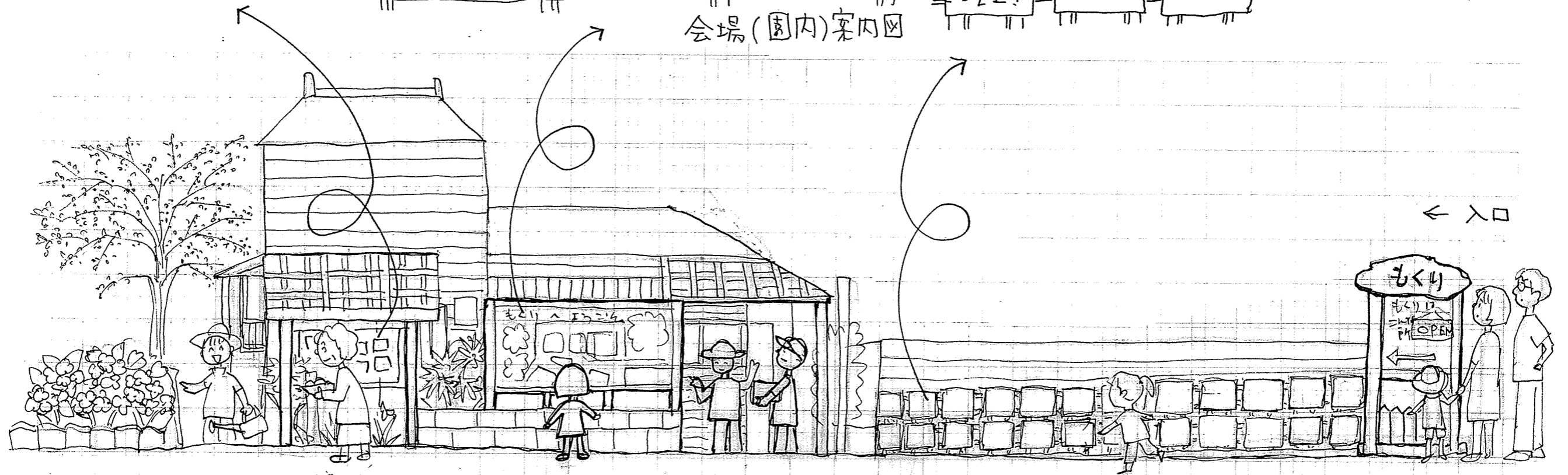
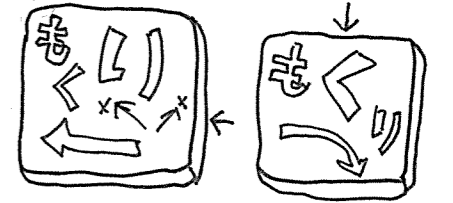
入口のアイコン



近隣の家々

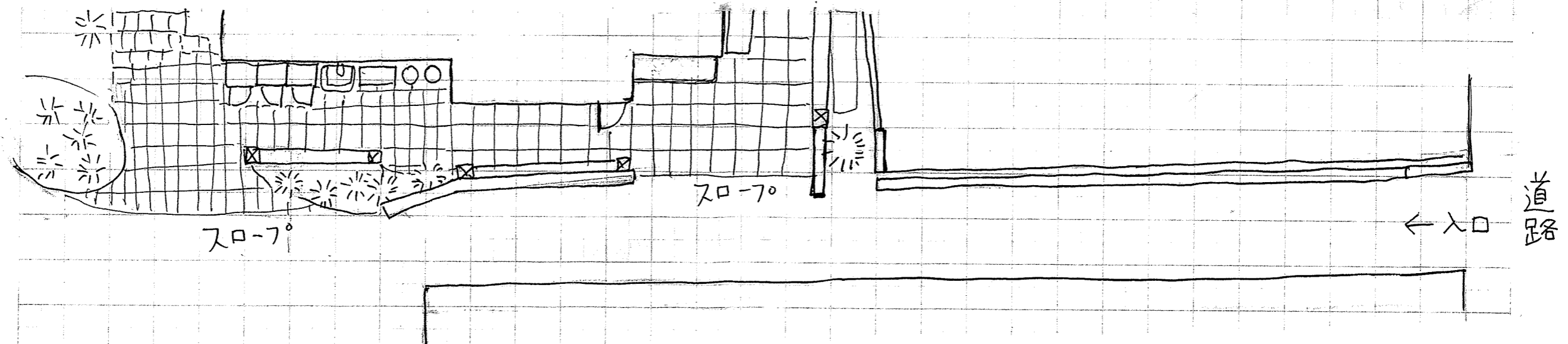
・ 町内の掲示板の下に

案内矢印を  
掲示する

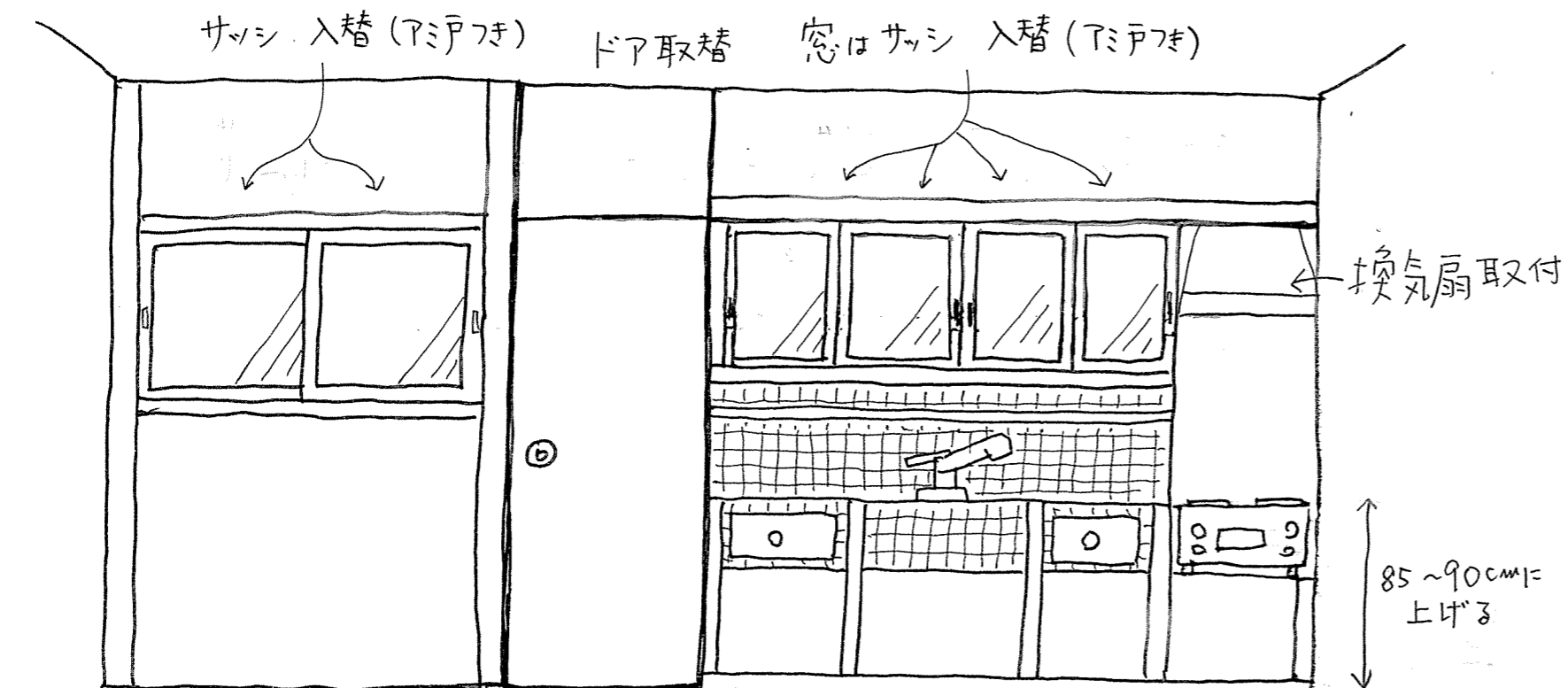


789 05 禁止事項

JIS B4 230x330mm

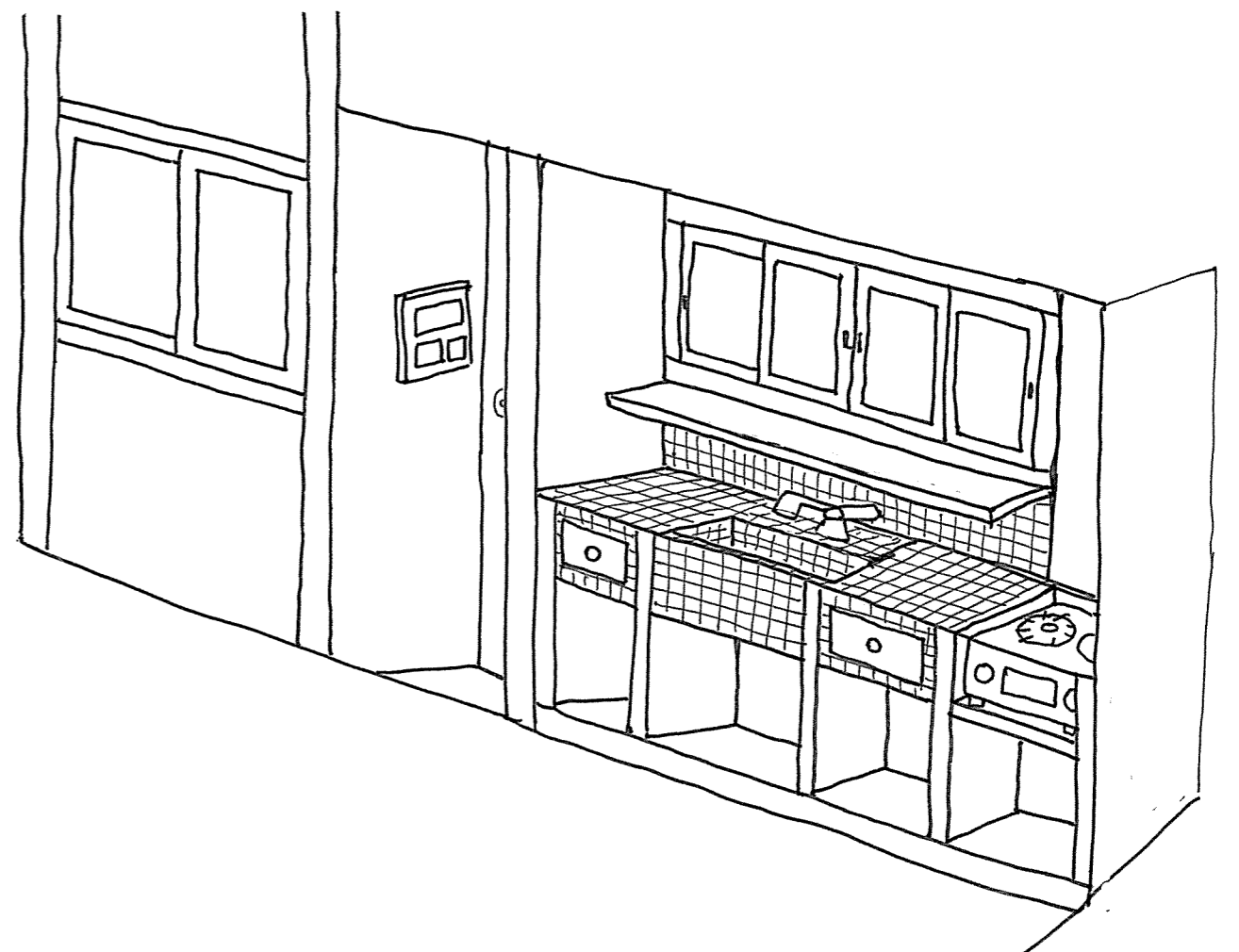


# キッチン詳細図



← 60cm → ← 90cm → ← 60cm → ← 60cm →  
調理台    シンク入替調理台    コンロ

— タイルを貼る  
シンク下は引出し式の物入を作る



# ヨコハマ市民まち普請事業

## 想定整備費用内訳書

### ※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 （費用又は労力の負担等）
内装工事	サッシ・シンク 取替工事、給排水 設備工事など	1	式	1,180,000	キッチン仕上げ工 事はボランティア で（2週間×5 人）
トイレ設備配管 工事	排水管取替工 事、桝取替工 事など	1	式	506,500	
雨水設備工事	透水管取付工 事、桝取付工 事など	1	式	545,000	
井戸設置工事	浄水洗浄工事 （水質検査共等） など	1	式	805,000	
外構工事	通路側整備（ス ロープ）、タイ ル工事、庭の水 はけ改善工事な ど	1	式	766,600	タイル張りはボラ ンティアで（3週間 ×5人）
外壁工事	外壁修繕、電気 配電修理、建具 取替工事など	1	式	735,000	
諸経費				98,264	
材料費	看板設置、かま ど整備、雨水タ ンク整備など	1	式	100,000	
消費税				473,636	
合 計				5,210,000	



# 1次通過後の活動報告

月	火	水	木	金	土	日
7/10 7月 広報研修	11 就労	12	13	14	15 みんなの食堂	16
17	18 就労	19	20 生活クラブ 集会	21	22 食事会	23
24 役員会 蕎麦うち 体験会	25 就労	26 アドバイザー 顔合わせ	27	28 フォトスタジオ と打ち合わせ	29 おやつタイム	30
31 活動報告会	8/1 8月 キッチン打合せ	2	3	4	5	6
7 タウンニュース 取材	8 就労	9	10 夏季休業 ←	11	12	13
14	15	16	17	18	19 みんなの食堂	20
21 役員会	22 就労	23 見学ツアー キッチン 打合せ	24	25	26 おやつタイム	27
28	29 就労	30 大鳥小学校 支援級見学	31 9月	9/1 まち普請 zoom会議	2 生活クラブ 取材	3
4 ヨガ教室	5 広報ココハマ 中区版取材	6	7 書道部	8	9	10
11 広報研修	12 就労	13	14	15	16 みんなの食堂	17
18 役員会 まち普請会議	19 就労	20 大鳥小学校 支援級見学	21	22	23 まち普請 懇談会	24
25 運営委員会	26 就労	27	28	29 チラシ印刷	30 おやつタイム	10/1
2 チラシ印刷	3 チラシまき チラシ印刷	4	5 書道部	6	7 イベント準備	8
9	10	11	5周年記念イベント			14
16 役員会	17 就労	18 広報研修	19	20	21 みんなの食堂	22
23 自然農法 学習会	24 就労	25	26	27 ハロウィン イベント	28 おやつタイム	29 現地視察
30	31 就労	11/1 11月	2 書道部	3	4	5
6	7 就労	8	9	10	11 近隣説明	12
13 ヨガ教室	14 就労	15 近隣説明	16	17	18 大鳥自治会 文化祭 みんなの食堂	19
20 近隣説明	21 就労	22 手芸部	23	24	25 おやつタイム	26
27 役員会	28 就労	29	30			

開園日 月、火、水、木、土

開園時間 11:00~16:00

\*季節によって変更あり

臨時休園あり。

開園日 平均来年園者数

月~木 2人前後

土 4~5人前後

会員 2018~2023年 60名

2023年度 25名

団体会員 4団体

5周年記念イベントの  
看板



5周年記念イベント  
10/9~15

10/9(月) AM  
ヨガ教室 (本牧  
在住の講師)

10/9午後蕎麦打ち体験  
(蕎麦職人さん南区在中)



10/10(火) 着付け&お茶会

10/11(水) もくり カフェ

10/12(木)

アップサイクル研究所  
~コースター作り

講師はいずれももくり  
のボランティアさん



10/14(金)

人形劇 (本牧で活動の  
人形劇グループ)

& 駄菓子屋



10/15(日) ボランティア懇親会

曜日ごとにボランティアさんが違うので、  
初めての合同交流会



\*役員会 運営スタッフ (代表、副代表、総務) 3名で月1回開催

\*運営委員会 3~4ヶ月に1回開催。(そといく会、アジト  
生活クラブ、地域ケアプラザなど 連携グループが参加)

定期的な利用団体

もくりの自主活動

畑の管理、花やハーブの手入れ  
野菜販売によるカンパ活動、土木、  
大工仕事、就労支援事業受など、



\*みんなの食堂

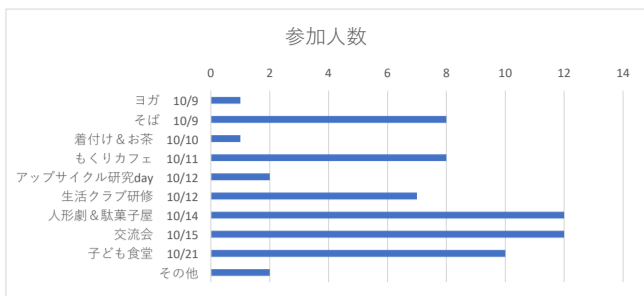
手芸部 (手工作品でカンパ活動) 書道部

\*食育グループあんぐりもんぐり。月1回のおやつタイム)

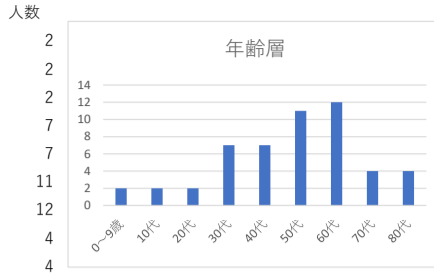
来場者アンケート集計

2023年10月9日(月)~21日(土)

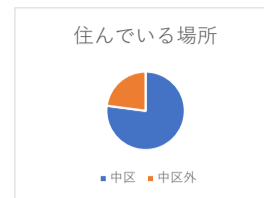
参加イベント	参加人数
ヨガ 10/9	1
そば 10/9	8
着付け&お茶 10/10	1
もくりカフェ 10/11	8
アップサイクル研究day 10/12	2
生活クラブ研修 10/12	7
人形劇&駄菓子屋 10/14	12
交流会 10/15	12
子ども食堂 10/21	10
その他	2
計	63



年代	人数
0~9歳	2
10代	2
20代	7
30代	7
40代	11
50代	12
60代	7
70代	4
80代	4



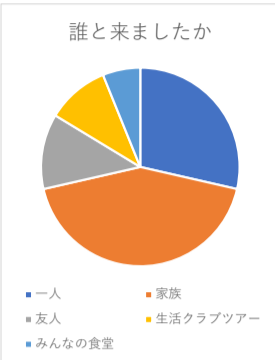
住んでい	人数
中区	37
中区外	11



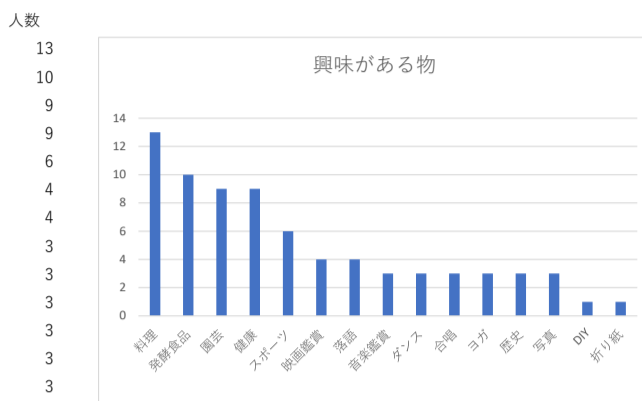
性別	人数
男性	9
女性	42



誰と来ま	人数
一人	14
家族	21
友人	6
生活クラ	5
みんなの	3



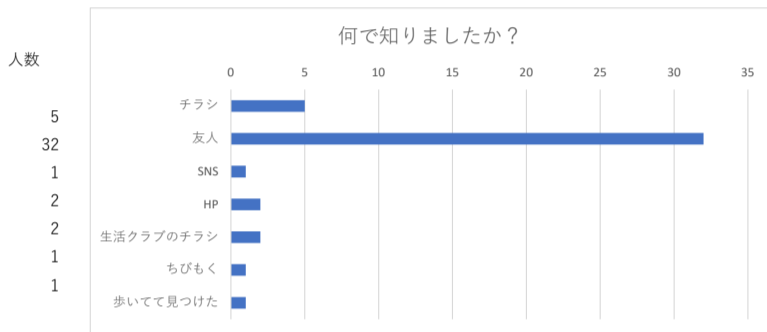
興味がある物	人数
料理	13
発酵食品	10
園芸	9
健康	9
スポーツ	6
映画鑑賞	4
落語	4
音楽鑑賞	3
ダンス	3
合唱	3
ヨガ	3
歴史	3
写真	3
DIY	1
折り紙	1



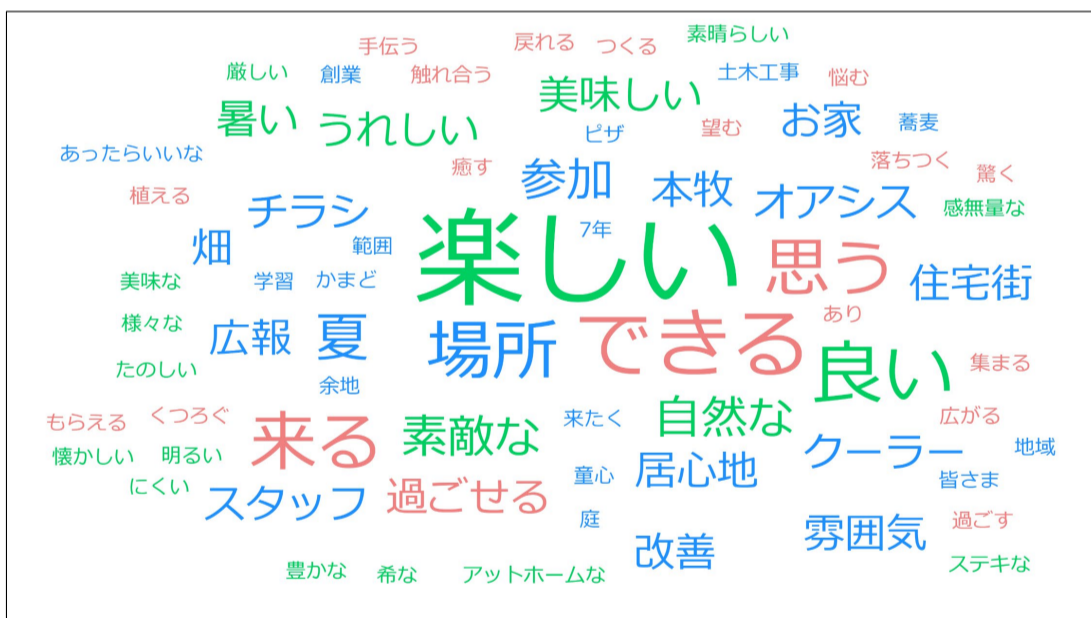
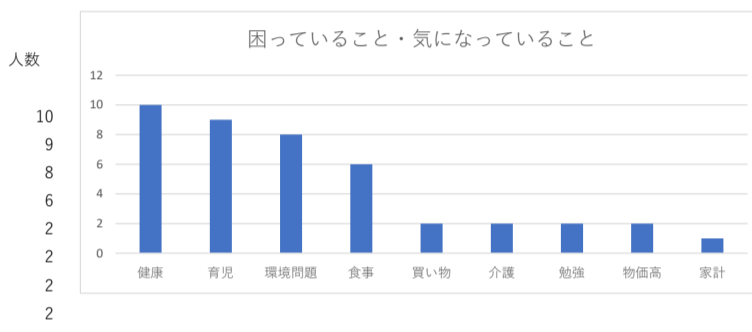
もくりに来たのは何回目?	人数
初めて	9
2回目	4
3回目	33

何で知りましたか?

知った方法	人数
チラシ	5
友人	32
SNS	1
HP	2
生活クラブのチラシ	2
ちびもく	1
歩いて見つけた	1

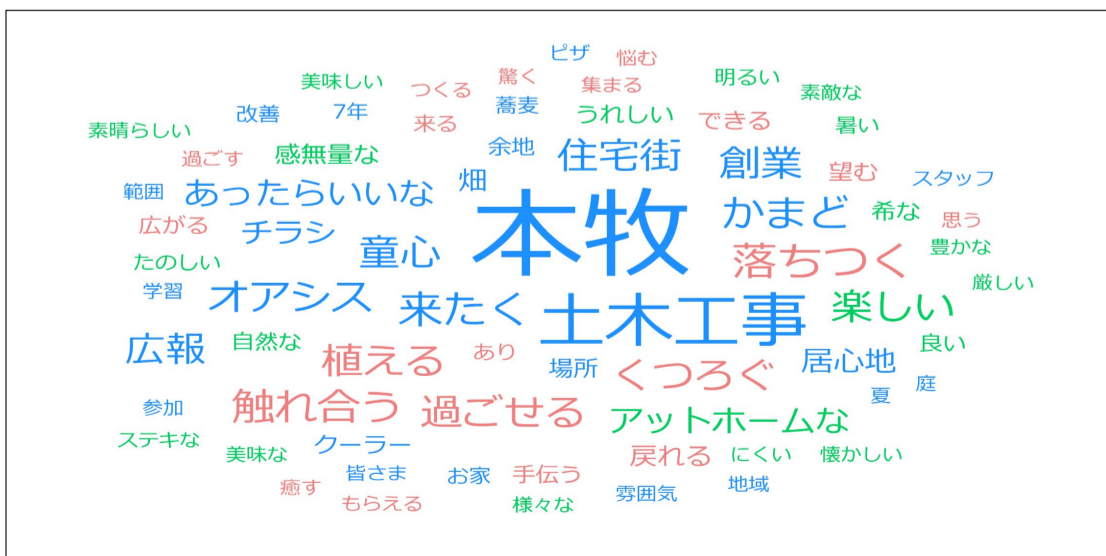


困っていること	人数
健康	10
育児	9
環境問題	8
食事	6
買い物	2
介護	2
勉強	2
物価高	2
家計	1



もくりの感想キーワード

※アンケートで出た頻度の高いものほど大きい字



もくりらしい感想キーワードを並び替え